

2025年度 FinCity Global Forum及び Tokyo Asset Management Forumの開催等について

2025年9月2日
FinCity.Tokyo事務局

目 次

1. [委託の背景・目的](#) 3
2. [FinCity Global Forum及びTokyo Asset Management Forumの企画・運営](#) 4
3. [会員交流会の企画・運営](#) 8
4. [契約、受託者選定の方法等](#) 10
5. [提案書、プレゼン動画の作成方法等](#) 11
6. [当面のスケジュールイメージ\(暫定\)](#) 12
7. [支払い方法・業務履行にあたっての留意点](#) 13
8. [権利の帰属](#) 14
9. [親族関係に関する申告の要請](#) 15
10. [契約候補者選定にあたって評価する項目、要素、配点等](#) 16
11. [Appendix](#) 18

1. 委託の背景・目的

一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)(以下、「FCT」という。)では、金融プロモーションの主な活動の一つとして、国内外での情報発信を実施

●Fincity Global Forum(FGF)

2019年度からFCT主催の旗艦イベントとして毎年開催。資産運用の高度化及び国際金融都市・東京構想に関する認知度・理解度向上を目的として、日本市場に関心を持つ海外金融関係者等に対し国内の動向、モメンタムを継続的に発信。東京を代表する金融フォーラムとして位置づけている。

●Tokyo Asset Management Forum(TAMF)

2023年度から、FCTでは新興独立系資産運用業者(EMP)の普及促進のためEM Shocaseを実施。選定されたEMをTAMFで紹介するとともに、機関投資家と(EMP)のマッチングを促進。FGFと同日に開催することで、FCTの旗艦イベントとして一体的に発信

●会員交流会

FCTでは、会員企業間の連携強化などを目的とした会員交流会を開催。本交流会では、会員企業やイベント関係者等とのネットワーク機会を創出するとともに、FCTの活動方針や東京の金融・資本市場をめぐるテーマに関する共通理解と連携を深めるための機会とする。

●2025年度の開催方針

FCTの旗艦イベントであるFGF、TAMF及び会員交流会の実施案について、同一のRFPによって提案を募集し、より一体的かつ効率的、効果的な運営につなげる。

2. FGF、TAMF及びネットワーキングの企画・運営 委託内容

● 委託内容

- FGF及びTAMF(以下、両者を合わせて「イベント」という。)の企画・運営、これに附随する業務の実施
- イベント登壇者・参加者間の交流を促進するネットワーキングの企画・運営、これに附随する業務の実施

◆ 数値目標など

- イベントへの国内外金融関係者の活発な参加を促し、とくに海外からの参加者数が150名以上(25%以上)となるよう努めること
(2024年度実績:参加者620名、海外参加者の割合16%)
- TAMFにおいては、国内外のアセットオーナー(AO)の参加者数が50名以上(参加者の15%程度)となるよう努めること
(2024年度実績:参加者329名、AOは約27名*)

◆ 提案を求める事項

- イベントの企画・登壇者について提案を行うこと
- イベント及びネットワーキングの運営方法、ロジ内容について提案を行うこと(想定される内容を次項に記載)

◆ 提案にあたっての条件

- イベント開催、ネットワーキング実施日は、2026年2月5日(木)終日とする(タイムスケジュール案は別紙参照)
- イベントの開催形式は、会場+オンラインのハイブリッド開催とし、日英同時通訳をつけることとする。
- イベント及びネットワーキングの会場は、原則「KABUTO ONE」(東京都中央区日本橋兜町7-1)とする。イベント及びネットワーキングの趣旨により適した会場が考えられる場合は、提案に盛り込むこと。
- 上記数値目標について、それを達成するための明確な仮説を提案に盛り込むこと
- 会場借上げ、Web配信、広報、通訳、登壇者への謝礼(必要な場合)、飲食等に係る費用は委託料に含まれることとし、相手方への支払いを行うこと
- イベントの企画・登壇者の提案にあたっては、国内外金融関係者、FCT会員企業、FCTの事業活動に関連する公官庁関係者、オピニオンリーダー等の関心を引き、参加を促す内容とすること。とくにTAMFの企画・登壇者の提案にあたっては、ターゲット参加者である国内AOの関心を引くような内容とすること。また、FGFの企画・登壇者の提案にあたっては、金融都市・東京への国際的な注目が増すような内容とすること。なお、提案にあたっては、イベントでの議論の結果が政府の金融政策等への提言・要望に繋がりが得るものになるよう留意すること
- TAMFにおいては「EM Showcase**」を実施する。TAMFの企画にあたっては「EM Showcase」の実施を前提とした提案を行うこと。なお、EM Showcaseの登壇者はFCTが選定するため、受託者が候補者を提案する必要はない。
- イベント及びネットワーキングの運営方法、ロジ内容の提案にあたっては、トラブルや事故のない適切な運営を確保することを前提に、実施の効果を最大化するための内容・実施体制を提案すること。また、効率性やコストの観点も踏まえた提案とすること

*アンケート回答者の約8.3%がAOであることを参考に、参加者数329名より算出

**国内外の機関投資家等に「Emerging Managers(EM)」の認知度を高めることを目的に国内の注目すべきEMを紹介する取組。TAMFのプログラムの一部として開催することを予定

イベント及びネットワーキングの運営方法、ロジ内容(想定される内容)

● 事前準備関係

1. イベント全体の企画立案
2. 連絡・調整
 - a. イベント:300~600名程度参加の想定
 - b. ネットワーキング(昼と夜の2回、各回50~100名程度参加の想定)
3. イベント広報・告知(記事広告、SNSコンテンツの発信などメディア活用等含む)、集客管理
4. イベントWebページの作成、SNSコンテンツの作成
5. MC、登壇者、後援団体等との連絡・調整・準備
6. 進行マニュアル、配布物、アンケート等の作成

● 当日運営関係

1. イベント進行管理(要日英同時通訳)
2. 受付、来場者対応
3. オンライン配信
4. 後日広報・報告書用写真撮影、動画撮影
5. ネットワーキングの運営(軽食等の提供を含む)
6. 緊急時対応

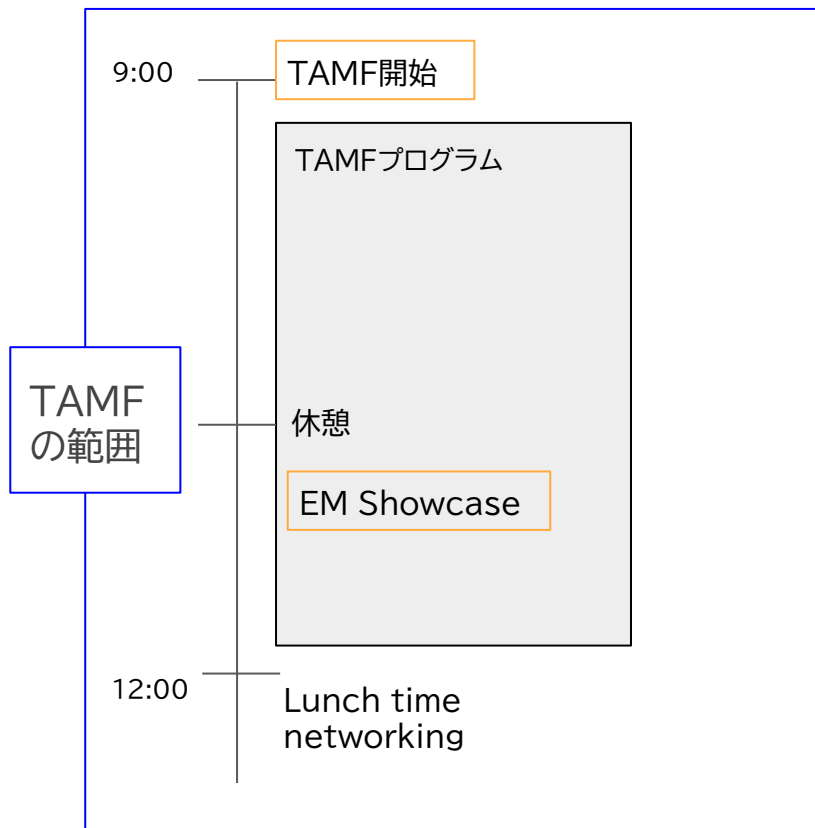
● 事後整理関係

1. 開催内容の分析(アンケート集計、参加者属性分析等)、開催報告書の作成・提出(翌年度のイベント開催に向けた改善点を明確にし、TAMFとFGFで2部構成とすること)
2. イベント採録(メディア活用等含む)
3. 動画コンテンツ作成、SNSコンテンツ作成
4. 資料(イベントで登壇者等が使用したものなど)、当日収録映像等のアーカイブ配信

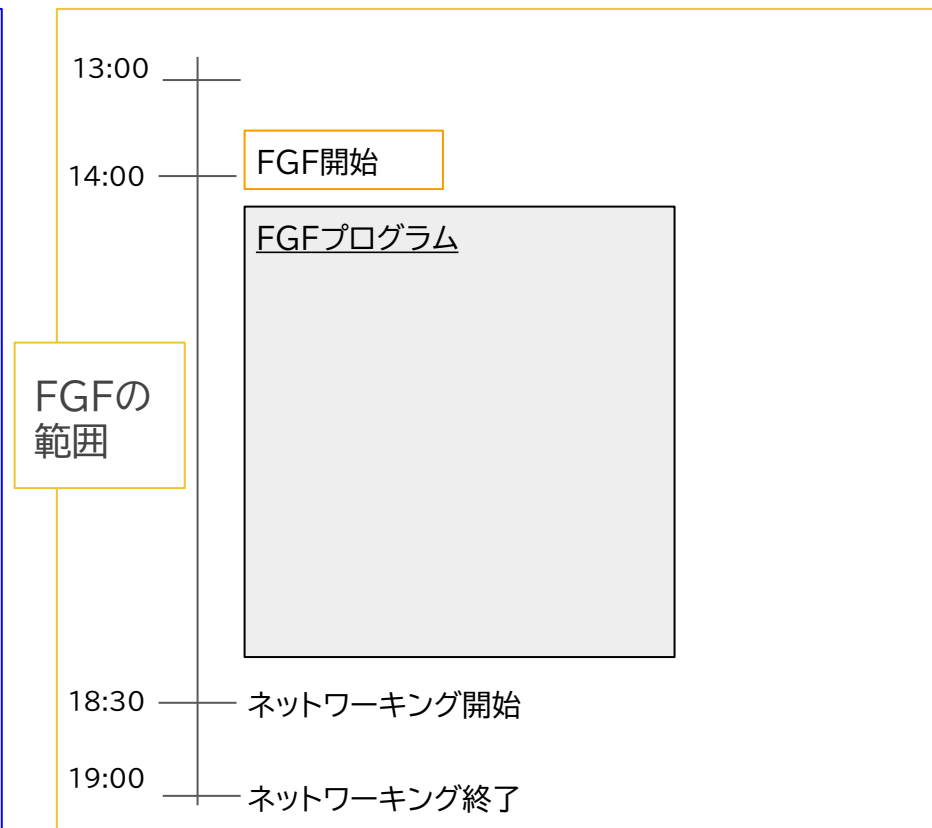
● その他

1. 上記に挙げた事項以外にも、トラブルや事故のない適切なイベントの運営、ネットワーキングの運営を確保することを前提に、実施の効果を最大化するための運営方法、ロジの内容、実施体制を提案すること。また、効率性やコストの観点も踏まえた提案とすること
2. 上記に挙げた事項について、海外からの参加者に対応するため、英語での対応・案内が必要となる場合がある。詳細はFCTと別途協議すること

2026年2月5日(木)AM



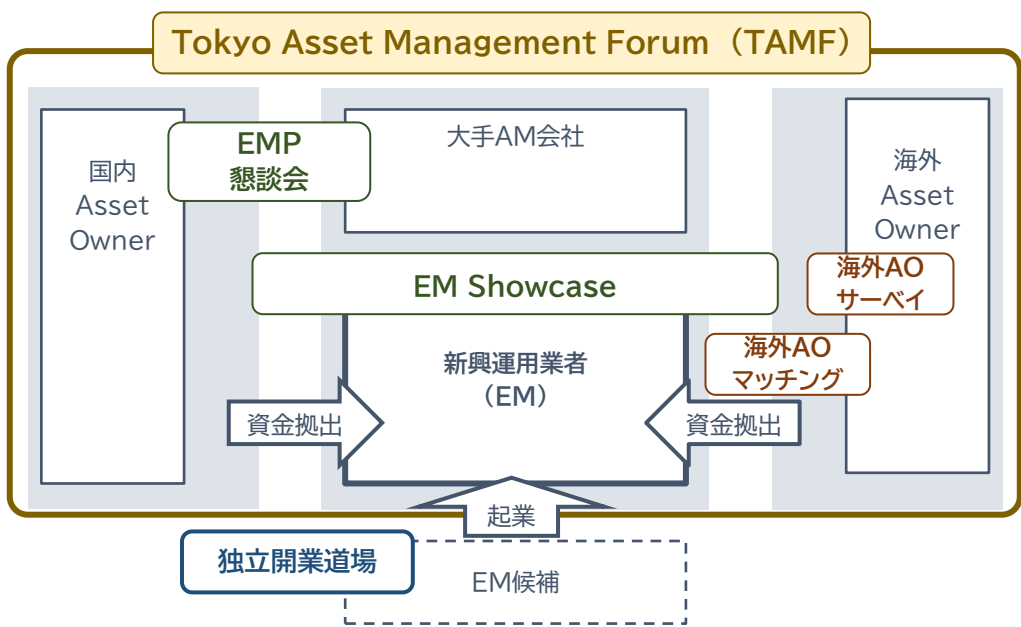
2026年2月5日(木)PM



EMP事業とTokyo Asset Management Forumの位置づけ

- EMP事業は新興資産運用業者(EM)の市場参入を促進し、国内資産運用業の多様化・高度化を促進する事業。TAMFはこのEMP事業の趣旨に沿って実施
- FGFでは国際金融都市・東京構想などに関連する幅広いテーマを取り上げてプログラムを構成するが、TAMFにおいては特にEMPの認知度向上を目的としているため、アセットオーナーやアセットマネージャーの関心を引く内容が求められる。(例:海外アセットオーナーの登壇、国内EMPプログラムの実例紹介等)

EMP事業の全体像



- 1 主要プレーヤーが一堂に会するフラッグシップイベント
Tokyo Asset Management Forum (TAMF) EMPの認知度向上及びEMを始めとする国内資産運用者と機関投資家とのマッチング機会の創出
- 2 国内EMと海外AOとの架け橋
海外AO マッチング EMと海外AOのマッチング機会創出
海外AO サーバイ 海外AOに対するEM投資の実態調査
- 3 国内EMへの資金拠出を促進するための施策の検討・実施
EMP懇談会 「AOからEMへの資金拠出」を後押しするための施策の具現化。
EM Showcase 注目に値する国内EMを見える化して紹介することで、EMの認知度向上を促進
- 4 次なる国内EMの創出と育成
独立開業道場 先輩EMや専門家による実務的な情報提供を通じた、次世代EMの独立・開業促進

3. 会員交流会の企画・運営 委託内容

- 委託内容

会員交流会の企画・運営、これに附随する業務の実施

- 提案を求める事項

- 会員交流会の企画・登壇者・招待者について提案を行うこと
- 会員交流会の運営方法、ロジ内容について提案を行うこと(想定される内容を次項に記載)

- 提案にあたっての条件

- 開催日は、2026年2月4日(水)とする。
- 開催形式は、会場でのリアル開催とし、参加者は100名程度を見込むものとする。
- 会場は、上記参加者数を収容できる規模で、かつ、会員交流会の趣旨に沿った企画を開催することに適した場所を提案すること。【参考】2024年度会場:帝国ホテル(東京都千代田区内幸町1丁目1-1)「桜の間」
- 企画・登壇者の提案にあたっては、会員交流会の趣旨(FCT会員企業、国内外金融機関関係者等との連携強化等)を踏まえた内容とし、必ずネットワーキングの企画を盛り込むこと。また、翌日(2月5日(木))に開催するFGF及びTAMFの企画との連携・連動や相乗効果を高める観点を盛り込んだ内容とすること
- 招待者の提案にあたっては、FCT会員企業関係者、FCTの事業活動に関連する公官庁関係者、オピニオンリーダー、FGF及びTAMF登壇者を含めることとし、さらにそれ以外の国内外金融関係者も含めて提案すること
- 会場借上げ、Web配信、広報、通訳、登壇者への謝礼(必要な場合)、飲食等に係る費用は委託料に含まれることとし、相手方への支払いを行うこと
- 運営方法、ロジ内容の提案にあたっては、トラブルや事故のない適切な運営を確保することを前提に、実施の効果を最大化するための内容・実施体制を提案すること。また、効率性やコストの観点も踏まえた提案とすること

イベント及びネットワーキングの運営方法、ロジ内容(想定される内容)

● 事前準備関係

1. イベント全体の企画立案
2. 連絡・調整
 - a. 会員交流会:100名程度参加の想定
 - b. ネットワーキング:100名程度参加の想定
3. 広報・告知(記事広告、SNSコンテンツの発信などメディア活用等含む)、集客管理
4. MC、登壇者、後援団体等との連絡・調整・準備
5. 進行マニュアル、配布物、アンケート等の作成

● 当日運営関係

1. 進行管理(要日英同時通訳)
2. 受付、来場者対応
3. オンライン配信
4. 後日広報・報告書用写真撮影、動画撮影
5. ネットワーキングの運営(軽食等の提供を含む)
6. 緊急時対応

● 事後整理関係

1. 開催内容の分析(アンケート集計、参加者属性分析等)、開催報告書の作成・提出(翌年度の会員交流会開催に向けた改善点を明確にすること)
2. 採録(メディア活用等含む) ※各種制作物は原則として日本語・英語での制作を想定
3. 資料(会員交流会で登壇者等が使用したものなど)、当日収録映像等のアーカイブ配信
4. 参加申込者等の情報は会員交流会終了後、外部媒体で納品すること

● その他

1. 上記に挙げた事項以外にも、トラブルや事故のない適切な会員交流会の運営、ネットワーキングの運営を確保することを前提に、実施の効果を最大化するための 運営方法、ロジの内容、実施体制を提案すること。また、効率性やコストの観点も踏まえた提案とすること
2. 上記に挙げた事項について、海外からの参加者に対応するため、英語での対応・案内が必要となる場合がある。詳細はFCTと別途協議すること

4. 契約、受託者の選定方法等

【契約期間・金額等】

- 契約期間 : 契約締結日～2026年3月31日
- 委託金額 : 2,700万円(税込)
- 受託者選定方法 : プロポーザル方式
- 評価 : 提案内容、価格を総合的に判断して、最も優れた1社を選定
- 納品物 : 報告書(アンケート集計、参加者属性分析などの統計データ等を含む)

* 提案書には、本RFP記載の内容が確実に実現できる運営体制を盛り込むこと。内容の専門性に鑑み、外部の専門家等の関与も積極的に検討すること。特に、TAMFの運営についてはFCTのEMP事業の一環として、効果的な事業遂行に資するように留意すること

5. 提案書、プレゼン動画の作成方法等

【提出が必要なもの】

1. 本RFPに係る提案書
2. 上記提案書に係るプレゼン動画

【作成方法】

● 提案書

- 本RFP記載の委託業務の内容の全てについて提案を行うこと
- 日本語で作成すること
- 書式、分量は任意とするが、提出時はPDF形式とすること

● プレゼン動画

- 提案書記載の提案内容について、審査員向けに分かりやすく日本語で説明すること
- 説明者は任意とする
- 形式はmp4形式とし、時間は30分以内とする

【提出方法】

- 以下の提出先までメール、大容量ファイル送信サービス等により提出すること
- 提出後、別途メールまたは電話で提出が完了した旨を事務局に連絡すること

(提出先) FCT事務局 メール: contact@fincity.tokyo 電話: 03-5614-0063

【提出期限】

2025年9月19日(金)12:00

6. 当面のスケジュールイメージ(暫定)

- 9月2日(火)正午 : RFP公示
- 9月19日(金)正午 : 提案書提出期限
- 9月中旬～下旬 : 事業者の選定(審査会)
- 審査会以降 : RFP事業者との契約締結、今後の方向性等議論・確認
- 9-12月 : イベント内容調整、登壇者等への依頼
- 12月 : FCTのプレスリリース及び記事広告(+SNS開始)
- 1月 : 最終調整
- 2月4日、5日 : イベント、会員交流会開催
- 終了後 : 採録記事、アーカイブ配信、アンケート集約、報告書作成など

7. 支払い方法・業務履行にあたっての留意点

- 契約に関する納品物(業務の最終報告書等)をもって2025年度末までに支払う。
- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等について、FCTと十分に調整を図るとともに、FCTから申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額的に実施不可能な提案は行わないこと。
- 本事業の提案・実施に当たり知りえた情報については、他の目的で使用し又は第三者に開示もしくは漏洩してはならないものとする。本事業終了後も同様の取扱いとする。

8. 権利の帰属

- この仕様書に基づく業務により、作成された作成物に係る著作権の全ては、FinCity.Tokyoに帰属するものとする。受託者は、FinCity.Tokyo及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後もFinCity.Tokyoが無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

問い合わせ先
一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)
メール:contact@fincity.tokyo

9. 親族関係に関する申告の要請

- 貴社の役員又は役員以外で本件への応募の意思決定に関与した方に、一般社団法人東京国際金融機構の役員（理事及び監事）との親族関係があるときは、契約候補者となった場合、その旨の申告をお願いいたします。
- 申告すべき「親族」の範囲は「配偶者、生計を同一とする者（未成年者の子を含む）」を最低限とし、それ以外の親族についても、知りうる限りにおいて該当があれば申告いただきます。
- 親族関係の有無を理由として、審査において不利益な取扱いをすることはありません。

10. 契約候補者選定にあたって評価する項目、要素、配点等

評価項目(各項目10点満点で採点)	素点	ウェイト	配点
①イベント運営に資する経験や知見、提案の具体性	1～5	x2	10
②金融や資産運用分野における知見や専門性、FCTのミッションへの理解度の深さなど	1～5	x8	40
③国内外の広報や集客面における提案の具体性	1～5	x4	20
④テーマ設定や提案する登壇者等の適切性	1～5	x4	20
⑤その他、企画提案における独自性など、評価すべき点	1～5	x2	10
合計点	-	-	100

審査要領

1. P16記載の審査項目について、審査員が採点を行う。
2. 各審査員は、採点の合計得点が最も高い提案者に投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
3. 得票数が最も多い提案者が複数あるときは、全審査員の採点を合計した総合計得点が最も高い提案者を契約候補者とする。
4. 上記3の場合で、総合計得点も同一の提案者が複数あるときは、当該提案者の中から、審査委員長が契約候補者を選定する。
5. 契約候補者と契約できない事由が生じたとき(辞退など)は、当該候補者を除く提案者について、上記と同様の投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
6. 審査員の採点の平均が「2」未満の審査項目がある提案者は、契約候補者とししない。提案者が一者のみの場合も同様とする。

2024年度開催実績

【Tokyo Asset Management Forum】

- 日時:2024年1月31日 午前
- 主催:FCT
- 目的:EMPの認知度向上及びEMを始めとする国内資産運用者と機関投資家とのマッチング機会の創出
- 参加者:国内外金融機関、資産運用会社、上場企業、フィンテック等金融ベンチャー、弁護士・会計士、政府関係者、メディア等
- 申込み数:約660名 参加者数:392名(会場:180名、視聴者数:212名)
- 開催方法:ハイブリッド開催
- 詳細:
<https://financial.jiji.com/seminar/20240131/tamf2024/>

【FinCity Global Forum】

- 日時:2024年1月31日 午後
- 主催:FCT
- テーマ:国際金融都市の変曲点
- 参加者:金融機関、上場企業、フィンテック等金融ベンチャー、弁護士・会計士、政府関係者、メディア等
- 申込み数:1,092名、参加者数:620名(オンライン:330 会場:290)
- 開催方法:ハイブリッド開催
- 採録:
<https://financial.jiji.com/seminar/20240131/fgf2024/>
- その他:情報の訴求効果を高めるため主要メディアを活用した記事発信、広告展開等を実施

2024年度 TAMFプログラム

Timing	Topic	Speaker/ Moderator
9:00-9:05	開会挨拶 Opening remarks	● FinCity.Tokyo 代表理事 中曽宏
9:05-9:15	基調講演 1 Keynote speech 1	● 金融庁 井藤英樹長官
9:15-9:25	EM Showcaseの紹介 Introduction of EM Showcase	● FinCity.Tokyo シニアアドバイザー石田英和
9:25-10:25	EM Showcase(自社紹介プレゼン)	● アニマルスピリッツ 代表パートナー 朝倉祐介氏 ● ブリックレイヤー・アセット・マネジメント株式会社 社長兼ポートフォリオマネージャー 楠本昭人氏 ● ジャパン・アクティベーション・キャピタル株式会社 代表取締役社長&CEO 大塚博行氏 ● Kemuri Ventures 合同会社 代表パートナー 岡田博紀氏 ● 日本橋バリューパートナーズ株式会社 創業者兼最高投資責任者 高柳健太郎氏
10:25-10:35	休憩(EM Showcase Photo session)	
10:35-11:20	Panel discussioin:インパクト投資	● SDGインパクトジャパン マネージング・パートナー 岡由布子氏 ● カディラキャピタルマネジメント 代表取締役社長 トレーディング部長 坂本一太氏 ● GLIN Impact Capital 共同代表 秦 雅弘氏 ● モデレーター: FCT マネージャー 村井翔太郎
11:20-11:35	基調講演 2 Keynote speech 2	● TriVista Capital パートナー 後藤正樹氏
11:35-12:20	Panel discussioin:グローバル機関投資家のEMアロケーション戦略	● Philippe Paquet, Managing Partner, New Alpha Asset Management ● Kirk Sims, Managing Director of Emerging Managers Program, TRS Investment Management Division ● Daniel Jim, Senior Adviser, Chartwell Family Partners ● Ferenc Sanderson, Executive Advisor, Visual Alpha Co. Ltd
12:20-13:50	Lunch networking	

EM Showcase

EM Showcase 2024-2025

日本株アクティブ運用
・ヘッジファンド



ベンチャーキャピタル



バイアウト・その他



EM Showcase選出内容に基づいて分類

注：グレー背景は2024年選出EM



昨年度のEM Showcaseの様子

2024年度 FGFプログラム

時 刻	項 目	登壇者
14:00-14:03	開会挨拶(3分)	・ 小池 百合子 東京都知事
14:05-14:50	基調対談 2025年国際金融・経済政策の見通しと金融センターとしての東京の役割(45分)	・ 中曽 宏 FinCity.Tokyo代表理事× 神田 真人 アジア開発銀行総裁
14:50-15:40	パネルディスカッション①:「投資対象としての日本を実現するためのGX戦略」(50分)	・ 服部 経治氏 (FCT理事)・有田 浩之氏(BlackRock Japan)・高田 英樹氏(GX推進機構・理事)・原田 文代氏(FCT理事)
15:55-16:10	基調講演	・ 菅野 暁氏(東京大学CFO)
16:10-17:00	パネルディスカッション② 「小粒上場問題とグロース市場の活性化のために必要なこと」(50分)	・ 有友 圭一氏(FCT専務理事)・菱田 賀夫氏(三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社)・黄 春梅氏(インパクトキャピタル株式会社)・出川 昌人氏(日本CFA協会)・朝倉 祐介氏(アニマルスピリッツ株式会社)
17:05-17:40	ピッチセッション:東京市場への新たな挑戦 新規参入した運用会社とVCによる戦略と展望	・ 5社 (ARCHIMED、キャップストーン・ジャパン・リミテッド、ユーラゼオ、Fiera Capital Asia、Pangea Ventures)
17:40-18:30	パネルディスカッション③:プライベートウェルスの開放から持続可能な経済成長への回路を拓く(50分)	・ 鬼頭朱実氏(PwC税理士法人)・浜田 直之氏(三菱UFJモルガンスタンレー証券株式会社)・阪口和子氏(FCT理事)
18:30-18:35	閉会挨拶(5分)	・ Laurent Depus, Secretary General of IBA(FCT会員)
18:35-19:35	Networking (60分)	

<参考資料> 2019年度 第1回FGF アジェンダと登壇者

FinCity Global Forum ～資産運用と国際金融都市の目指す未来～

日程：2020年3月19日(木)13:00-17:30 場所：グランドハイアット東京 3階「タラゴン」

主催：FinCity.Tokyo(一般社団法人東京国際金融機構) 共催：日本経済新聞社 後援：金融庁

目的：資産運用高度化及び国際金融都市構想に対する認知度・理解度向上、賛同者拡大

開会挨拶(13:00-13:20) 中曽 宏 (FinCity.Tokyo会長) (「国際金融都市・東京」構想)

講演(13:20-13:50) 遠藤 俊英(金融庁長官) (活力ある資本市場の実現と資産運用業のあり方について)

講演(13:50-14:10) 大場 昭義(投資顧問業協会会長) (資産運用業の発展に向けて)

講演(14:10-14:30) チャールズ・レイク(アフラック代表取締役) (国際金融都市戦略と共有価値の創造(CSV)経営)

休憩(14:30-14:45)

パネル(14:45-15:55) 資産運用の高度化と国際金融都市構想 (モデレーター:小野塚 恵美)

- ・田原 泰雅 (金融庁総合政策局総合政策課長)
- ・戸田 和秀 (日本生命保険相互会社取締役常務執行役員)
- ・松本 大 (マネックスグループ株式会社取締役会長兼代表執行役社長CEO)

パネル(15:55-16:40) 地方創生と社会課題解決(仮) (モデレーター:小栗 太(日本経済新聞社編集委員))

- ・木口 愛友 (西日本機械金属企業年金基金運用執行理事)
- ・渋谷 健 (コモンズ投信株式会社取締役会長)
- ・佐藤 学 (地域創生ソリューション株式会社代表取締役社長)

パネル(16:40-17:25) 世界の金融都市と都市間連携(モデレーター:有友 圭一(FinCity.Tokyo専務理事))

- ・Jochen Biedermann (Managing Director, World Alliance of International Financial Centers (WAIFC))
- ・Hubertus Vaeth (Managing Director, Frankfurt Main Finance)
- ・ギャリー・スタントン (国際銀行協会事務局長)

<参考資料>2020年度 第2回FGF アジェンダと登壇者

FinCity Global Forum ～ポストコロナにおける東京の国際金融都市としての役割と資産運用の高度化～

日程：2021年2月2日(水)13:00-17:30

場所：日経ホール

主催：FinCity.Tokyo(一般社団法人東京国際金融機構) 共催：日本経済新聞社 後援：金融庁

目的：ポストコロナに向けた東京を中心とした日本における国際金融都市としての役割、資産運用の高度化及び国際金融都市構想に対する認知度・理解度向上、賛同者拡大

開会挨拶(13:00-13:15) 中曽 宏(FinCity.Tokyo会長) (ポストコロナの日本の国際金融都市としての役割)

講演(13:15-13:30) 中西 健治(財務省副大臣) (国際金融都市に向けたインフラ整備)

講演(13:30-13:45) 赤澤 亮正(内閣府副大臣) (活力ある資本市場の実現と資産運用業のあり方について)

講演(13:45-14:05) 宮坂 学(東京都副知事) (「国際金融都市・東京」構想とデジタル化)

講演(14:05-14:20) フィリップアブリル(IBA Japan会長) (外資の立場から見た日本の国際金融都市化)

休憩(14:20-14:45)

パネル(14:45-15:30) 国際金融都市に向けた課題と期待 (モデレーター:日本経済新聞編集委員)

- ・翁 百合(株式会社日本総合研究所理事長)
- ・田村 浩四郎(モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社 代表取締役社長)
- ・菅野 暁(アセットマネジメントOne株式会社 取締役社長)

パネル(15:30-16:15) 資産運用の高度化と投資家の役割 (モデレーター:有友圭一)

- ・奥野 一成(農林中金バリューインベストメンツ常務取締役兼最高運用責任者(CIO))
- ・坂本 教晃(株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 取締役 / パートナー)
- ・Ted Lee, Senior Portfolio Manager, CPPIB
- ・Jason Low, Senior Vice President, GIC

パネル(16:15-17:00) 産業金融 x イノベーション (モデレーター:富田社長(Refinitiv))

- ・呉村 益生(経済産業省経済産業政策局産業資金課長)
- ・坂田 一郎(東京大学副学長 大学院工学系研究科／未来ビジョン研究センター教授)
- ・南雲 岳彦(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社専務執行役員)
- ・山岡 浩巳(フューチャー取締役 フューチャー経済・金融研究所長「デジタル通貨フォーラム」座長)

閉会(17:00-17:15) 小池 百合子(東京都知事)

<参考資料>2021年度 第3回FGF アジェンダと登壇者

FinCity Global Forum ～グリーン国際金融都市・東京の未来(仮)The future of Tokyo, a green global financial city

日程:2022年2月2日(水)11:00-18:30

場所:日経ホール

主催:FinCity.Tokyo(一般社団法人東京国際金融機構) 共催:日本経済新聞社 後援:金融庁

開会挨拶(11:30-11:45) 中曽 宏 (FinCity.Tokyo会長) (グリーン国際金融都市・東京の未来)

講演(11:45-12:00) 木原 誠二 (内閣官房副長官) (サステナブル資本主義を推進するための国際金融都市)

パネル(12:05-12:50) 国内における高度金融人材の採用活性化と金融業の魅力 (モデレーター:柳澤誉之 リクルート)

- ・三嶋 英城 (SMBCクラウドサイン 代表取締役社長)
- ・上原 玄之 (Symphony アジアパシフィック地域 戦略・企画担当)
- ・尾崎 由紀子 (野村ホールディングス株式会社 執行役員 グループ人事担当)
- ・野中 瑛里子 (Fintech協会 事務局長/合同会社N.FIELD代表)
- ・井谷 太 (三井住友信託銀行 取締役専務執行役員)

パネル(12:55~13:40) 文化芸術×国際金融都市 (モデレーター:鈴木 ともみ 経済キャスター)

- ・武田 文志 (観世流能楽師)
- ・東海林 正賢 (PMGコンサルティング フィンテック・イノベーション パートナー)
- ・原 朋直 (ジャストランベット奏者/作曲家/バンドリーダー/洗足学園音楽大学教授 ジャズコース代表)

講演(14:00~14:15) 黄川田 仁志 (内閣府副大臣) (活力ある資本市場の実現と資産運用業のあり方について)

パネル(14:20~15:05) 脱炭素社会の実現に向けたグリーンファイナンスの推進 (モデレーター:小平 龍四郎 日本経済新聞論説委員兼編集委員)

- ・西村 和浩 (東急不動産ホールディングス執行役員/東急不動産執行役員)
- ・森 敦仁 (FTSE Russell サステナブル投資部門 日本代表)
- ・末廣 孝信 (三井住友銀行 ホールセール統括部 サステナブルビジネス推進室 部長)
- ・大澤 晶子 (日本生命保険 取締役執行役員)

パネル(15:10~15:55) サプライチェーンファイナンスの高度化による中小企業の強靱化 (モデレーター:玉木 淳 日本経済新聞社金融エディター)

- ・神崎 忠彦 (中小企業庁 事業環境部金融課長)
- ・藤本 守 (SBIホールディングス 執行役員ブロックチェーン推進室長/SBI R3 Japan 代表取締役CEO)
- ・家田 明 (マネーフォワードケッサイ 取締役会長)

講演(16:00~16:15) 山道 裕己氏 日本取引所グループCOO、東京証券取引所 社長 (国際金融センター東京とJPX)

パネル(16:20~17:05) 国際金融都市としての未来 ～FinCity.Tokyo アンバサダーが語る～ (モデレーター:ギャリー・スタントン 国際銀行協会 事務局長)

- ・河合 祐子 (Japan Digital Design 代表取締役CEO)
- ・ローラン・デュブス (SMBC信託銀行 取締役)
- ・イエスパー・コール (カタリスト投資顧問 シニア・グローバル・アドバイザー)
- ・デービッド・セマイヤ (三井住友トラスト・アセットマネジメント 会長)

パネル(17:10~17:55) コロナ後の国際金融都市間の連携について (モデレーター:Jochen Biedermann Managing Director, WAIFC)

- ・Nicolas Mackel (CEO of Luxembourg for Finance)
- ・Philippe Richard (EXECUTIVE DIRECTOR, ABU DHABI GLOBAL MARKET)
- ・Arnaud de Bresson (CEO, Paris EUROPLACE)
- ・有友 圭一 (FinCity.Tokyo 専務理事)

閉会(18:00-18:10) 小池 百合子(東京都知事)

<参考資料>2022年度 第4回FGF アジェンダと登壇者

FinCity Global Forum ～トランジションファイナンス・東京の挑戦～

日程:2023年2月2日(水)13:30-17:50

場所:Kabuto One

主催:FinCity.Tokyo(一般社団法人東京国際金融機構) 後援:金融庁

開会挨拶(13:30-13:35) 小池 百合子(東京都知事) (グリーン国際金融都市・東京の未来)

パネル(13:35-14:25) 東京がアジアのハブとなるために (モデレーター:小平 龍四郎 日本経済新聞社 論説委員 兼 編集委員)

- ・小野 洋 (環境省 地球環境審議官)
- ・岩永 泰典 (アムンディ・ジャパン チーフ・レスポンシブル・インベストメント・オフィサー)
- ・大嶋 幸一郎 (三菱UFJ銀行 常務執行役員 ソリューション本部長)
- ・ノーラ・マティ (駐日欧州連合代表部 通商部 一等書記官)

講演(14:30-14:40) 藤丸 敏 (内閣府副大臣) (金融庁におけるトランジション・ファイナンスの取組みについて)

パネル(14:45-15:25) 発行体からの問題意識と取り組み(モデレーター:足達 英一郎 日本総合研究所 常務理事)

- ・井上 峰人 (経済産業省 産業技術環境局 環境金融企画調整官)
- ・手塚 宏之 (JFEスチール 専門主監(地球環境))
- ・酒入 和男 (JERA 取締役副社長執行役員 財務・経理管掌(CFO))

パネル(15:30-15:40) 金融仲介機関の果たすべき役割と展望 (モデレーター:清水 季子 日本銀行 理事)

- ・増田 真男 (野村證券 執行役員 日本政策投資銀行常務執行役員)
- ・瀧 俊雄 (電子決済等代行業者協会 代表理事)
- ・ブルーノ・ゴソーグ (ソシエテ・ジェネラル証券 代表取締役グループ・カンツリー・ヘッド、ソシエテ・ジェネラル銀行 東京支店 支店長 日本における代表者)

講演(15:50-16:40) 木原 誠二氏 内閣官房副長官(新しい資本主義とグリーン国際金融センター)

パネル(16:45-17:25) 資本市場サイドからのアプローチ(モデレーター:小沼 泰之 東京証券取引所 取締役 専務執行役員)

- ・池田 賢志 (野村證券 執行役員 日本政策投資銀行常務執行役員)
- ・今井 成人 (農林中央金庫 常務執行役員 グローバルバンキング統括責任者サステナビリティ共同責任者)
- ・村上 朋久 (野村證券 執行役員 インベストメント・バンキング・プロダクト担当)

総括(17:30-17:50) 中曽 宏(東京国際金融機構 会長)

<参考資料>2023年度 第5回FGF アジェンダと登壇者

FinCity Global Forum ～国際金融都市の「変曲点」

日程:2024年1月31日(水) 14:00-18:40

場所:Kabuto One

主催:FinCity.Tokyo(一般社団法人東京国際金融機構) 後援:金融庁その他

開会挨拶(13:30-13:35) 小池 百合子 (東京都知事)

パート1:国際金融都市・東京に求められているもの

講演 中曾 宏(FinCity Tokyo代表理事)

パネル (モデレーター:石田 英和 FinCity.Tokyo EMPスペシャルアドバイザー)

- ・市川 宏雄 (森記念財団理事)
- ・デービッド・セマイヤ (FinCity.Tokyo アンバサダー /三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 代表取締役会長)
- ・伊藤 千恵 (株式会社FINOLAB 代表取締役)

パート2:アセットオーナーシップの改革に必要なものとは

講演 井林 辰憲 (内閣府副大臣)

パネル モデレーター:三和 裕美子 (明治大学商学部 教授 博士(商学))

- ・宮部 長久 (リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社 代表取締役社長)
- ・木村 武 (日本生命保険相互会社 執行役員 PRI(国連責任投資原則)理事)
- ・アダム・ワトソン (パートナーズ・キャピタル パートナー、アジア太平洋地域共同責任者))

パート3: 資産運用におけるイノベーションを創出するために

講演 木原 誠二

パネル モデレーター:有友 圭一 (FinCity.Tokyo 専務理事)

- ・藤野 英人 (野村證券 執行役員 日本政策投資銀行常務執行役員)
- ・菱田 賀夫 (三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 代表取締役社長)
- ・首藤 正浩 (モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント代表取締役社長 マネーシング・ディレクター)

総括 服部 経治(FinCity.Tokyo 理事 /Brookfield Japan 株式会社 代表取締役 プライベート・ファン ド 日本代表マネーシング・ディレクター)

<参考資料> FinCity Global Forumのデータ ①

FinCity Global Forum関連のサイト

1)第1回 2019年度 2020年3月19日 ～資産運用と国際金融都市の目指す未来～

- 募集サイト : 日本語/英語サイト:<https://events.nikkei.co.jp/24012/>
- 日経採録 : 日本語:<https://ps.nikkei.co.jp/fincityglobalforum2020/> : 英語:<https://ps.nikkei.co.jp/fincity2020/>
- サマリー動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=9c4FtDMcANY>

2)第2回 2020年度 2021年2月2日 ～ポストコロナにおける東京の国際金融都市としての役割と資産運用の高度化～

- 募集サイト : 日本語サイト:<https://events.nikkei.co.jp/33327/> : 英語サイト:<https://events.nikkei.co.jp/34109/>
- 日経採録 : 日本語:<https://ps.nikkei.co.jp/fincityglobalforum2021/> : 英語:<https://ps.nikkei.co.jp/fincity2021/>
- サマリー動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=wf9qbSp7F2Y&t=153s>

3)第3回 2021年度 2022年2月2日 ～グリーン国際金融都市・東京の未来～

- 募集サイト : 日本語サイト:<https://events.nikkei.co.jp/44541/> : 英語サイト:<https://events.nikkei.co.jp/44622/>
- 日経採録 : 日本語:<https://ps.nikkei.com/fincityglobalforum2022/index.html> : 英語:<https://ps.nikkei.com/fincity2022/>
- サマリー動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=H9GO4vC68tQ>
- 各セッション動画 : 日本語:<https://channel.nikkei.co.jp/fincity3/> : 英語:<https://channel.nikkei.co.jp/fincity3en/>

4)第4回 2022年度 2023年2月2日 ～トランジション・ファイナンス・東京の挑戦～

- 募集サイト : 日本語サイト:<https://financial.jiji.com/seminar/20230202/> : 英語サイト: <https://financial.jiji.com/seminar/20230202/en/>
- 採録 : 日本語:<https://financial.jiji.com/seminar/20230202/> : 英語:<https://financial.jiji.com/seminar/20230202/en/>
- サマリー動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=UubHlH8UTLs>
- 各セッション動画 : 日本語・英語:<https://www.youtube.com/@FinCityTokyo/videos> :

<参考資料> FinCity Global Forumのデータ ②

FinCity Global Forum関連のサイト

5)第5回 2024年度 2024年1月31日 ～国際金融都市の「変曲点」～

○募集サイト：日本語:<https://financial.jiji.com/seminar/20240131/fgf2024/>

英 語:<https://financial.jiji.com/seminar/20240131/fgf2024/en/>

○サマリー動画：<https://youtu.be/msqlU7euQrw?si=YYSJ0PEPl8m8NYJr>